

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-244961

⑤ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)10月12日

H 04 M 3/56

A-8426-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 会議電話の自動接続方式

⑮ 特 願 昭62-78075

⑯ 出 願 昭62(1987)3月30日

⑰ 発 明 者 野 崎 忠 雄 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑲ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称

会議電話の自動接続方式

特許請求の範囲

自動構内交換装置において、会議電話主催者の電話機から予め入力される会議電話開始時刻データと前記会議電話参加者の電話番号とを登録しておく登録手段と、前記参加者相互の通話が可能な会話電話通話手段と、前記会議電話開始時刻に前記参加者の電話機を自動的に呼出しこれに回答してくる前記参加者の電話機からの回線を前記会議電話通話手段に自動的に接続せしめる会議電話接続制御手段とを有することを特徴とする会議電話の自動接続方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は会議電話の自動接続方式に関し、特に

自動構内交換装置(以下PABXと記す)の会議電話の自動接続方式に関する。

(従来技術)

従来、この種の会議電話の接続は、会議を招集する内線加入者自信か、またはその内線加入者から依頼された中継台扱者が、会議開始時刻に会議に参加する複数の内線加入者を一加入者ずつダイヤルにより呼出して会議電話装置に接続する方式である。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来 of 会議電話の接続では、会議を招集する内線加入者や、または、中継台扱者が、会議開始時刻に会議参加者をダイヤルで呼出す方式となっているので、会議招集者は会議開始時刻を覚えていなくてはならなかったり、また、会議参加内線加入者を一加入者ずつダイヤルで呼出すためのめんどろな操作と時間とを要するという欠点がある。

(問題点を解決するための手段)

本発明の会議電話の自動接続方式は、自動構内

交換装置において、会議電話主催者の電話機から予め入力される会議電話開始時刻データと前記会議電話参加者の電話番号とを登録しておく登録手段と、前記参加者相互の通話が可能な会議電話通話手段と、前記会議電話開始時刻に前記参加者の電話機を自動的に呼出しこれに回答してくる前記参加者の電話機からの回線を前記会議電話通話手段に自動的に接続せしめる会議電話接続制御手段とを有している。

(実施例)

次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例を示す機能ブロック図である。

第1図において、本実施例の会議電話の接続方式は、会議招集者の電話機(以下Aと記す)111と三人の被招集者の電話機(以下B, C, Xと記す)112, 113, 119とにそれぞれ接続する四個のライン回路(以下LCと記す)211, 212, 213, 219と、ダイヤル情報を計数

蓄積可能な発信レジスタ(以下ORTと記す)22と、会議参加者相互の通話を可能とする会議電話通話装置(以下CFUと記す)23と、LC211, 212, 213, 219へ呼出信号を送出する呼出信号装置(以下RGと記す)27と、LC211, 212, 213, 219からのダイヤル信号及び通話信号に対してダイヤル信号をORT22に接続し通話信号をCFU23に接続する主スイッチ(以下SWと記す)21と、A111, B112, C113, X119のそれぞれの電話番号と会議開始の呼出時刻を記憶する記憶装置(以下CFMと記す)26と、呼出時刻を監視し呼出時刻に会議参加者への呼出信号送出の指令と呼出しの応答に対する接続指令を出す会議電話接続制御装置(以下CFCと記す)25と、本実施例の会議電話接続のシーケンス制御を行う中央制御装置(以下CCUと記す)24とを有して構成されている。第2図は第1図に示す構成の内会議招集者が会議の開始時刻の登録をする場合の構成の一例を示す接続ブロック図で、A111, LC

211, SW21, ORT22, CFC25, CFM26及びCCU24とを有して構成されている。

第3図は第1図に示す構成の内会議開始時刻に会議招集者への呼出しを行う場合の構成の一例を示す接続ブロック図で、A111, LC211, SW21, CFU23, CCU24, CFC25, CFM26及びRG27とを有して構成されている。

第4図は第1図に示す構成の内会議開始時刻に被招集者全員を呼出してその応答の処理を行う場合の構成の一例を示す接続ブロック図で、A111, B112, C113, X119, LC211, 212, 213, 219, SW21, CFU23, CCU24, CFC25, CFM26及びRG27とを有して構成されている。

次に、第2図～第4図を用いて本実施例の動作について説明する。

まず、会議電話の開始時刻を指定してその指定時刻に自動的に会議参加者を招集する指定時刻自

動接続会議電話の登録を行う場合について説明する。

第2図において、A111の発信をLC211が検出しCCU24に通知する。CCU24はA111からの発信通知によりORT22を捕捉しSW21のリンクAを閉成する。ORT23がダイヤルパルス受信準備を完了したとき、ORT23はダイヤルトーンをA111に送出してダイヤルパルス受信準備完了をCCU24に通知する。ダイヤルトーンを聞いたA111は指定時刻自動接続会議電話の登録を要求するあらかじめ定められた登録コードをダイヤルし、続けて会議電話開始の指定時刻及び被招集加入者であるB, C及びX112, 113及び119の加入者番号をダイヤルする。これらのダイヤル情報はORT22により計数蓄積され、会議電話開始の指定時刻の発呼者情報と共にCCU24に伝達される。CCU24はORT22より伝達された情報を分析し、指定時刻自動接続会議電話の制御に必要な指定時刻情報、招集加入者番号、被招集加入者番号をC

F M 2 6 に登録し一時記憶させる。

全てのダイヤルを完了した A 1 1 1 は送受器を置いて、指定時刻に呼び出されるのを待つ。この間 C F C 2 5 は一定時間毎に C F M 2 6 を監視し、該当時間帯に指定時刻自動接続会議電話の登録の有無を検出する。

次に、会議招集者への呼出動作について説明する。

第 3 図において、C F C 2 5 が C F M 2 6 から該当時間帯における指定時刻自動接続会議電話の登録があることを検出した時、C F C 2 5 は最初に C F M 2 6 から招集加入者番号を読み出し、招集加入者の収容位置情報、C F U 2 3 の招集者用ポート情報等を分析して C C U 2 4 に伝達する。C C U 2 4 はこれらの受信情報にもとづいて A 1 1 1 と C F U 2 3 とのリンク B を予約し、R G 2 7 を起動し L C 2 1 1 を経由して説出信号を送出させる。A 1 1 1 がこれに应答するとリンク B が閉成して A 1 1 1 と C F U 2 3 の招集者用ポートとが接続され、会議招集者への呼出動作を終了す

る。

次に被招集者全員の呼出しとその応答処理の動作について説明する。

第 4 図において、C F C 2 5 は C C U 2 4 を経由して A 1 1 1 と C F U 2 3 との接続完了を確認後、C F M 2 6 から該当時刻に登録されている被招集加入者番号を全て読み出し、被招集加入者の B、C 及び X 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 9 の収容位置情報と C F U 2 3 の被招集者用ポート情報を分析して C C U 2 4 に伝達する。C C U 2 4 はこれらの受信情報にもとづいて B、C 及び X 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 9 と C F U 2 3 の被招集者用ポートとのリンク C、D、E をそれぞれ予約し、さらに B、C 及び X 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 9 に対して R G 2 7 を起動し、L C 2 1 2、2 1 3、2 1 9 を経由して一斉に呼出信号を送出させる。B、C 及び X 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 9 の応答によりリンク C、D、E がその都度閉成され、C F U 2 3 と B、C 及び X 1 1 2、1 1 3 及び 1 1 9 が接続され、この結果、A 1 1 1 を含めて会議電話が

可能となる。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、会議電話主催の内線加入者が会議開始時刻と会議参加加入者番号を予め自動構内交換装置の登録手段に登録しておくことにより、会議開始の指定した時刻に会議参加者を自動的に呼出し、応答後は自動的に会議電話通話手段に接続することができるので、会議電話主催者は呼出操作の手間と時間とを省くとともに、会議招集忘れを無くすることができるという効果がある。

図面の簡単な説明

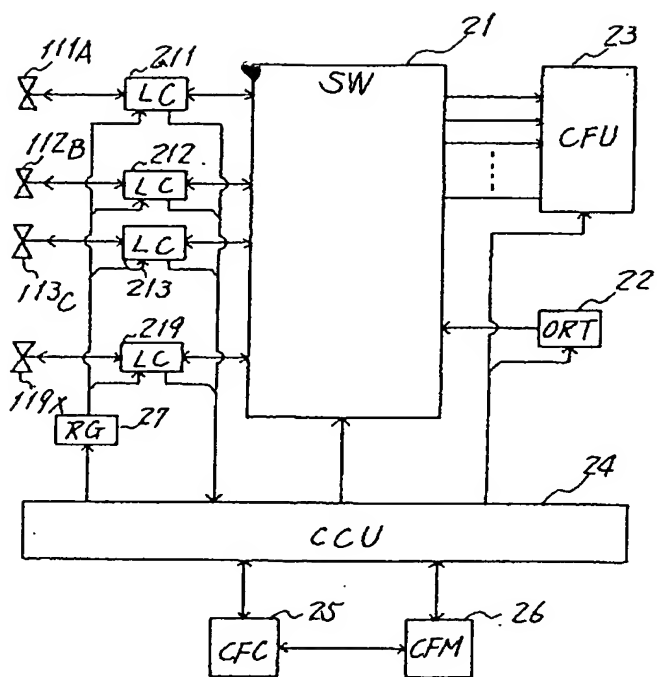
第 1 図は本発明の一実施例を示す機能ブロック図、第 2 図は第 1 図に示す構成の内会議招集者が会議の開始時刻の登録をする場合の構成の一例を示す接続ブロック図、第 3 図は第 1 図に示す構成の内会議開始時刻に会議招集者への呼出しを行う場合の構成の一例を示す接続ブロック図、第 4 図は第 1 図に示す構成の内会議開始時刻に被招集者

全員を呼出してその応答の処理を行う場合の構成の一例を示す接続ブロック図である。

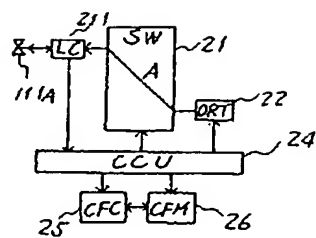
2 1 …主スイッチ (S W)、2 2 …発信レジスタ (O R T)、2 3 …会議電話通話装置 (C F U)、2 4 …中央制御装置 (C C U)、2 5 …会議電話接続制御装置 (C F C)、2 6 …会議電話呼出時刻記憶装置 (C F M)、2 7 …呼出信号装置 (R G)、2 1 1、2 1 2、2 1 3、2 1 9 …ライン回路 (L C)、1 1 1 …会議招集者の電話機 (A)、1 1 2、1 1 3、1 1 9 …被招集者の電話機 (B、C、X)。

代理人 井理士 内 原

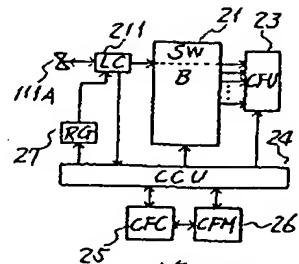
特



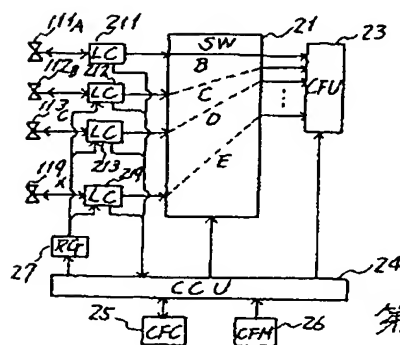
第1図



第2図



第3図



第4図